

提出日：平成 30 年 6 月 18 日

平成 29 年度 大阪大学蛋白質研究所 拠点事業

(2) 研究成果の概要

課題名		クライオ電子顕微鏡法によるアクチンを含むフィラメントの構造解析	
研究代表者	氏名	若林 健之	
	所属機関名・部局名	帝京大学・理工学部	
	職名	客員教授	
事業名 (該当の事業名の右欄に○)		共同研究員	
		超高磁場NMR 共同利用研究課題	
	○	クライオ電子顕微鏡共同利用研究課題	
		客員フェロー	
蛋白研受入担当教員名		岩崎 憲治	
<p>クライオ電子顕微鏡を使用する機会は得られなかったが、電子顕微鏡グリッドを親水化処理するための GloQube を利用することができた。この装置はアミルアミン雰囲気下でのグローディスチャージの最適条件を決定するに当たり、再現性が良かった。このグリッドを使い、超高圧電子顕微鏡センターの Titan-Krios を用いて、Vitrobot による凍結条件の最適化ができ、高分解能でのクライオ電子顕微鏡像を収集する上で役立ったので感謝しています。</p>			